



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月6日

上場会社名 三菱食品 株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7451 URL <https://www.mitsubishi-shokuhin.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 京谷 裕
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 相場 建 TEL 03-4553-5229
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	1,525,647	△0.3	19,250	30.4	20,885	31.2	14,132	26.2
2022年3月期第3四半期	1,529,673	—	14,759	24.4	15,915	23.3	11,200	14.0

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 14,149百万円(58.2%) 2022年3月期第3四半期 8,944百万円(△36.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	324.97	—
2022年3月期第3四半期	228.70	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期に係る売上高については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	825,932	180,047	21.8	4,144.59
2022年3月期	665,177	170,291	25.6	3,908.32

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 180,032百万円 2022年3月期 170,156百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	35.00	—	45.00	80.00
2023年3月期	—	45.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	65.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
 配当予想の修正については、本日(2023年2月6日)公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,990,000	1.8	23,000	20.8	25,000	22.7	17,000	21.9	391.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 連結業績予想の修正については、本日(2023年2月6日)公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	43,537,200株	2022年3月期	43,537,200株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年3月期3Q	99,375株	2022年3月期	347株
------------	---------	----------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	43,487,341株	2022年3月期3Q	48,977,084株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、2023年2月6日(月)に当社ホームページにて掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	10
(1) 品種別売上高明細表	10
(2) 業態別売上高明細表	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日～12月31日)におきましては、新型コロナウイルス感染症は足元では感染者数の増加はあるものの、行動制限の緩和に伴う人流回復等により、主に外食産業を中心に一定程度の消費の回復傾向が見られました。

一方で、エネルギーや原材料価格の高騰と急激な円安の影響で、食品産業においてもコストプッシュ型の値上げが続いております。賃金の上昇幅以上に物価が高騰し、生活防衛意識が更に高まることで、消費意欲の減退が懸念されており、当面は先行き不透明な状況が続くと予想されます。

このような状況下、当社グループは、食のサプライチェーンを支えるという使命のもと、「中期経営計画2023」で掲げた、より付加価値の高い機能とサービスの提供を図ってまいりました。

具体的には、デジタルマーケティングプラットフォームを構築し、AI需要予測による自動発注の推進や、当社独自のビッグデータに位置情報やレシートデータを掛け合わせて行うマーケティング施策により、新たな顧客価値の提案・創出を進めてまいりました。また、三菱商事グループ各社と連携し、地域の情報価値創出に向けた取り組みも開始しております。

引き続き、生活者の皆様の「フードライフパートナー」として、「食のビジネスを通じた持続可能な社会の実現」に貢献すべく取り組んでまいります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和に伴う人流回復等により、一部の業態で回復基調が見られたものの、家庭内食品需要の落ち込みや取引の見直し等により、1兆5,256億47百万円(前年同期比0.3%減少)となりました。営業利益は採算管理強化による利益率の改善や業務用取引の復調に加え、第1四半期連結会計期間より株式会社ケー・シー・エスを新規連結したこと等により192億50百万円(前年同期比30.4%増加)、経常利益は208億85百万円(前年同期比31.2%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は141億32百万円(前年同期比26.2%増加)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①加工食品事業

売上高は、家庭内食品需要の落ち込みや取引の見直し等により減少いたしました。利益面につきましては、取引の見直しに伴う採算性の向上等により、前年同期を上回りました。

以上の結果、売上高は5,042億68百万円(前年同期比3.6%減少)、営業利益は49億96百万円(前年同期比38.7%増加)となりました。

②低温食品事業

売上高は、業務用商材を中心に外食、ディスカウントストア等との取引が伸長し、増加いたしました。利益面につきましては、業務用商材の復調に伴う売上総利益の増加に加え、第1四半期連結会計期間より株式会社ケー・シー・エスを新規連結したこと等により、前年同期を上回りました。

以上の結果、売上高は4,445億47百万円(前年同期比2.9%増加)、営業利益は107億40百万円(前年同期比36.7%増加)となりました。

③酒類事業

売上高は、家飲み需要の落ち込みにより、スーパーマーケット等との取引が減少したものの、業務用商材の復調や値上げ前の駆け込み需要等により、増加いたしました。利益面につきましては、売上高増加に伴う売上総利益の増加等により、前年同期を上回りました。

以上の結果、売上高は3,750億26百万円(前年同期比1.8%増加)、営業利益は27億46百万円(前年同期比5.9%増加)となりました。

④菓子事業

売上高は、米菓の取扱いが落ち込んだことに加え、取引の見直し等により減少いたしました。利益面につきましては、10月以降の売上高回復に伴う売上総利益の増加や採算性の向上等により、前年同期を上回りました。

以上の結果、売上高は2,002億30百万円(前年同期比2.1%減少)、営業利益は18億95百万円(前年同期比4.8%増加)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産が1,607億54百万円増加、負債が1,509億98百万円増加し、純資産が97億56百万円増加いたしました。

総資産及び負債の増加の主な要因は季節変動等によるものであり、総資産においては、流動資産の受取手形及び売掛金が1,019億27百万円増加し、負債においては、流動負債の買掛金が1,489億6百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、当第3四半期の業績動向を踏まえ、2022年5月9日に公表いたしました2023年3月期の通期連結業績予想を修正しております。

売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和に伴う人流回復により、外食産業向けの業務用取引等が復調したものの、家庭内食品需要の落ち込みによる減少もあり、当初の予想を据え置いております。一方で利益面につきましては、過去に例を見ないほどの断続的な食品価格の上昇を背景に、採算管理強化による利益率の改善や業務用取引の復調に加え、第1四半期連結会計期間より株式会社ケー・シー・エスを新規連結したこと等により、各段階利益で当初の予想を上回る見込みです。

なお、配当につきましては、資本効率を重視し、成長投資を優先した上で積極的な株主還元を行うという基本方針に基づき、通期連結業績予想の修正を踏まえ、当期の期末配当予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(2023年2月6日)公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	205	583
受取手形及び売掛金	317,670	419,598
商品及び製品	68,706	95,975
原材料及び貯蔵品	872	1,046
短期貸付金	63,757	84,689
その他	63,886	73,914
貸倒引当金	△256	△264
流動資産合計	514,842	675,541
固定資産		
有形固定資産	79,474	81,560
無形固定資産		
のれん	1,425	2,291
その他	17,163	15,822
無形固定資産合計	18,589	18,113
投資その他の資産		
投資有価証券	28,892	29,010
その他	23,467	21,797
貸倒引当金	△87	△91
投資その他の資産合計	52,271	50,716
固定資産合計	150,335	150,390
資産合計	665,177	825,932
負債の部		
流動負債		
買掛金	402,495	551,402
引当金	3,337	160
その他	60,696	64,720
流動負債合計	466,529	616,283
固定負債		
退職給付に係る負債	11,262	11,348
引当金	—	58
資産除去債務	8,752	9,139
その他	8,341	9,055
固定負債合計	28,357	29,602
負債合計	494,886	645,885
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,630	10,630
資本剰余金	10,117	10,117
利益剰余金	140,584	150,798
自己株式	△0	△339
株主資本合計	161,331	171,206
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,152	8,349
繰延ヘッジ損益	123	△46
為替換算調整勘定	172	142
退職給付に係る調整累計額	376	379
その他の包括利益累計額合計	8,824	8,825
非支配株主持分	135	15
純資産合計	170,291	180,047
負債純資産合計	665,177	825,932

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	1,529,673	1,525,647
売上原価	1,427,943	1,414,164
売上総利益	101,729	111,482
販売費及び一般管理費	86,970	92,231
営業利益	14,759	19,250
営業外収益		
受取利息	53	47
受取配当金	614	648
不動産賃貸料	990	1,038
その他	917	1,146
営業外収益合計	2,576	2,880
営業外費用		
支払利息	125	114
不動産賃貸費用	932	929
その他	362	202
営業外費用合計	1,420	1,246
経常利益	15,915	20,885
特別利益		
固定資産売却益	211	—
投資有価証券清算益	—	2
ゴルフ会員権売却益	—	1
特別利益合計	211	3
特別損失		
減損損失	55	76
子会社株式売却損	—	22
投資有価証券売却損	31	0
その他	8	—
特別損失合計	95	98
税金等調整前四半期純利益	16,031	20,790
法人税、住民税及び事業税	3,909	5,270
法人税等調整額	902	1,370
法人税等合計	4,812	6,640
四半期純利益	11,219	14,149
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	17
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,200	14,132

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	11,219	14,149
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,478	197
繰延ヘッジ損益	△7	△170
為替換算調整勘定	16	38
退職給付に係る調整額	21	3
持分法適用会社に対する持分相当額	173	△68
その他の包括利益合計	△2,275	0
四半期包括利益	8,944	14,149
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,925	14,132
非支配株主に係る四半期包括利益	18	17

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(取締役等に対する業績連動型株式報酬制度)

当社は、第2四半期連結会計期間より、2022年6月27日開催の2021年度定時株主総会決議に基づき、当社の取締役及び執行役員(社外取締役、非常勤取締役、受入出向者及び国内非居住者を除き、以下「取締役等」という。)を対象に、当社の中長期的な企業価値向上への貢献意識を高め、株主をはじめとしたあらゆるステークホルダーの皆様との意識・利害を共有することを目的として、新たな業績連動型の株式報酬制度(以下「本制度」という。)を導入しております。

本制度に関する会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 2015年3月26日)に準じております。

1. 取引の概要

役員報酬BIP(Board Incentive Plan)信託と称される仕組みを採用し、原則として、当社が掲げる中期経営計画に対応する事業年度を対象期間として、職位及び業績目標の達成度等に応じて、当社株式及び当社株式の換価処分金相当額の金銭を取締役等に交付又は給付します。

2. 信託に残存する自社の株式

役員報酬BIP信託に残存する当社株式を、当該信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当第3四半期連結会計期間末における当該自己株式の帳簿価額及び株式数は337百万円及び98,900株であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	加工食品 事業	低温食品 事業	酒類事業	菓子事業	計			
売上高								
顧客との契約から生じる収益	522,982	432,069	368,255	204,457	1,527,765	1,908	-	1,529,673
その他の収益	-	-	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	522,982	432,069	368,255	204,457	1,527,765	1,908	-	1,529,673
セグメント間の内部売上高又は振替高	54	0	61	2	118	5,941	△6,059	-
計	523,036	432,070	368,317	204,459	1,527,883	7,849	△6,059	1,529,673
セグメント利益	3,601	7,857	2,592	1,808	15,860	299	△1,400	14,759

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	15,860
「その他」の区分の利益	299
のれんの償却額	△223
全社費用	△1,177
四半期連結損益計算書の営業利益	14,759

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	加工食品 事業	低温食品 事業	酒類事業	菓子事業	計			
売上高								
顧客との契約から生じる収益	504,268	444,547	375,026	200,230	1,524,073	1,573	-	1,525,647
その他の収益	-	-	-	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	504,268	444,547	375,026	200,230	1,524,073	1,573	-	1,525,647
セグメント間の内部売上高又は振替高	111	8	91	1	213	6,460	△6,673	-
計	504,380	444,556	375,117	200,232	1,524,287	8,033	△6,673	1,525,647
セグメント利益	4,996	10,740	2,746	1,895	20,378	120	△1,248	19,250

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	20,378
「その他」の区分の利益	120
のれんの償却額	△223
全社費用	△1,024
四半期連結損益計算書の営業利益	19,250

3. 補足情報

(1) 品種別売上高明細表

(百万円未満切捨)

品種	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
缶詰・調味料類	186,118	12.1	182,318	12.0	238,389	12.2
麺・乾物類	106,431	7.0	107,559	7.0	140,693	7.2
嗜好品・飲料類	184,168	12.0	171,724	11.3	231,680	11.8
菓子類	204,008	13.3	199,850	13.1	268,907	13.8
冷凍・チルド食品類	363,706	23.8	366,183	24.0	452,023	23.1
ビール類	195,285	12.8	198,617	13.0	247,553	12.7
その他酒類	155,674	10.2	159,169	10.4	202,068	10.3
その他	134,279	8.8	140,222	9.2	174,285	8.9
合計	1,529,673	100.0	1,525,647	100.0	1,955,601	100.0

(2) 業態別売上高明細表

(百万円未満切捨)

業態	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
卸売	129,554	8.5	151,294	9.9	166,964	8.5
SM	749,796	49.0	723,671	47.4	968,011	49.5
CVS	302,791	19.8	282,202	18.5	361,737	18.5
ドラッグストア	118,150	7.7	127,178	8.4	155,441	8.0
ユーザー	25,190	1.6	31,819	2.1	33,052	1.7
その他直販	174,026	11.4	170,752	11.2	225,592	11.5
(直販計)	1,369,956	89.5	1,335,624	87.6	1,743,835	89.2
メーカー・他	30,163	2.0	38,727	2.5	44,800	2.3
合計	1,529,673	100.0	1,525,647	100.0	1,955,601	100.0

(注) 1. ユーザーは外食・中食・給食等消費者へ直接飲食サービスを提供する事業者であります。

2. その他直販はディスカウントストア・EC事業者・ホームセンター・百貨店等であります。